

大阪大学と朝日カルチャーセンターの共同講座

Handai-Asahi 中之島塾

入会金不要

2014年
7~9月期

7月12日(土) 10:30~12:00

人の死から未来を考える

松本博志 (大阪大学大学院医学系研究科教授)

受講料 1,620 円

日本人は古くから死者を弔ってこの世からの別れの祭事を行ってきました。このことは死者を敬うと同時に自らの死への畏怖を和らげてきた可能性があります。近年、人々は多忙になり、核家族化し、さらにはお一人様状態もあり、実際は弔いの儀式は簡素化されたり、なかったりします。現代の弔いは何か。もしかすると死の原因を明らかにすることもできません。そして、死の原因を知ることは決して後ろ向きではなく、生きている人々に取って有益でもあります。この講義では死に関する科学的データから私たちの未来を読み解きます。

7月19日(土) 13:30~15:00

邪馬台国からヤマト政権へ

福永伸哉 (大阪大学大学院文学研究科教授)

受講料 1,620 円

奈良盆地の東南部に長さ 280m という圧倒的な規模で出現した箸墓古墳は、ヤマト政権の成立を物語る存在です。近年では、三角縁神獣鏡を手がかりとする考古学研究や、炭素 14 年代法を中心とする理化学研究によって、この古墳が 3 世紀半ばに造られた可能性が指摘されています。『魏志』倭人伝に見える 3 世紀の邪馬台国とヤマト政権の関係は?、巨大前方後円墳出現の意味は? 日本の古代国家揺籃期を、最新の研究成果から読み解きます。

8月2日(土) 13:30~15:00

知っておきたい糖尿病のこと

船橋 徹 (大阪大学大学院医学系研究科教授)

受講料 1,620 円

一般知識として知っておきたい人から、家系に糖尿病が多く発症しないかと心配な人、そして現在治療中の人まで、糖尿病やその合併症について知っておきたいことについてお話ししたいと思います。大阪大学で明らかにされてきた糖尿病の意外な仕組みや脂肪細胞の不思議な働きについてもご紹介したいと思います。からだのメカニズムを知って糖尿病から守っていきましょう。

8月23日(土) 13:30~15:00

古代語の謎を解く

蜂矢真郷 (大阪大学名誉教授・中部大学教授)

受講料 1,620 円

日本の古代のことばについて、形や意味を変えたりもしながら現代でも用いられているものを中心に、その語の成り立ちや由来を考えます。あまり根拠のない語源説のようなものではなく、国語学の、語構成を研究する立場から、いろんな語の表すところに迫ります。多くの語を合わせて比べてみると分かってくることもあります。分かりにくいことに迫る時には謎解きのようなおもしろさが、その由来に迫る時にはルーツを探るようなおもしろさがあるでしょう。(取り上げることは毎回変わります)

9月10日(水)、24日(水) 15:00~16:30

梅と天神が飛んだ由来

~伝承の読み解き方

高島幸次 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター招へい教授)

全 2 回 / 受講料 3,240 円

史上初めて、実在の人間(菅原道真)が神(天神)となった天神信仰は、実に豊かな伝承を蓄えています。なかでも道真の愛梅が京都から太宰府に飛んだ「飛梅伝承」はよく知られています。一方、天神自身が中国に飛び禪を学んだという「渡唐天神伝承」もあります。両伝承を読み解くと、古代・中世における世俗を超えた権力闘争が浮かび上がってきます。荒唐無稽な伝承に埋め込まれた史実を掘り起こす痛快講座です。

9月19日(金) 13:30~15:00

おもしろ日本語学

~現代日本語の時間の表現

小矢野哲夫 (大阪大学大学院言語文化研究科教授)

受講料 1,620 円

未来のことなのに「あした梅田に買い物に行ったときに、……」のように過去形で表現します。過去の出来事なのに、歴史年表には「1964 東京オリンピックが開催される。」のように書かれています。「曲がりくねった道」のように、時間に関係しない表現なのに過去形が使われます。命令するときに、「さっさと歩け!」「どいた、どいた」などと言います。一見無秩序のように思われる時間の表現にどんな規則があるのか、探ってみます。



朝日カルチャーセンターへお申し込み下さい。

☎ 06-6222-5224



Handai-Asahi 中之島塾

検索

検索結果ページをご覧ください。

会場

大阪大学中之島センター

☎06-6444-2100 大阪市北区中之島 4-3-53

